

【報道関係各位】

三谷産業株式会社
2020年7月21日

三谷産業、新型コロナウイルス感染症対策のご支援として 石川県立ろう学校にフェイスシールドを寄贈

三谷産業株式会社（本社：石川県金沢市／代表取締役社長：三谷 忠照）は、新型コロナウイルス感染症対策のご支援として、7月10日（金）、石川県立ろう学校にフェイスシールド 80 セット（Lサイズ 60 セット、Sサイズ 20 セット）を寄贈しました。

今回寄贈したフェイスシールドは、福井県鯖江市の眼鏡フレームメーカーである株式会社シャルマン製の「シャルマンシールド」です。眼鏡フレームメーカーならではの掛けごちのよい製品で、ろう学校の先生・生徒の皆さまに快適にお使いいただければ幸いです。

寄贈先の石川県立ろう学校・松原潤子校長からは、「ろう学校では口元が隠れるマスクでのコミュニケーションは難しく、これまでは手作りでフェイスシールドを作成したり、市販のものを使用したりしていましたが、バンド部分の締めつけで耳が痛くなるときもありました。このたび掛けごちのよいフェイスシールドを寄贈いただき、大変ありがたいです」というコメントをいただきました。



当社代表取締役社長三谷忠照（左）より石川県立ろう学校の松原潤子校長（右）にフェイスシールドをお渡ししました。

ろう学校に限らず教育機関一般において、フェイスシールドは感染症対策として有用です。マスクの場合には、気温が高くなると息苦しさを感じやすい、英語の授業では発音が教えにくいといった課題がありましたが、フェイスシールドであれば不都合なく授業を行うことができます。

三谷産業は、社会の一員として良識を持ち、責任ある活動を行い、社会の発展や豊かさに貢献することを、企業の使命であると考えています。今後も、新型コロナウイルス感染症対策のご支援に取り組むとともに、さまざまな形で社会に貢献できるよう努めてまいります。

(補足情報)

■金沢市役所への寄贈（6月4日）

6月4日（木）、金沢市役所を訪問し、フェイスシールド3,250セットと、栄養機能食品「エミティジ・ファクト※」500本を山野之義金沢市長に寄贈いたしました。

※「エミティジ・ファクト」は、三谷産業のグループ会社である株式会社ミライ化成が金沢医科大学病院と共同開発した飲料タイプの栄養機能食品（亜鉛、ビオチン配合）です。



（左から1人目）金沢市長山野之義様
（左から2人目）当社代表取締役社長 三谷忠照

その他、石川県および富山県内の自治体や学校、図書館、医療機関にもフェイスシールドを寄贈しております。

■三谷産業グループについて

三谷産業グループは、化学品、樹脂・エレクトロニクス、情報システム、空調設備工事、住宅設備機器、エネルギーの6つの事業を持つ複合商社です。1928年に金沢で創業して以来、現在は、金沢と東京の二本社体制を持つ三谷産業株式会社を中心に、子会社29社（日本19社、海外10社）で事業展開しています。商社でありながらも、製造・物流などの機能をあわせ持ち、さらに技術部門とも連携した提案型営業を推進しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

三谷産業株式会社 広報事務局（共同ピーアール）
TEL：03-3571-5258 Email：mitani-pr@kyodo-pr.co.jp